

院外処方せんに表示する検査値の条件

◆ 薬剤ごとに表示する検査値

- ①添付文書の禁忌・警告に具体的に検査項目が記載されている薬剤
- ②腎機能に応じた用量調節が必要な薬剤

◆ 固定検査値(16項目) (全ての処方せんに共通の検査値を表示)

- ・重篤副作用別対応マニュアル(厚労省監修)より、自覚症状で早期発見できない副作用および自覚症状よりも先に臨床検査値が変動する副作用を対象とし、「早期発見と早期対応のポイント」の項目に記載のある検査値

GOT GPT ALP T-BIL CRE eGFR Cys-C K CPK

WBC HGB PLT SEG ST TSH HbA1C

注意事項

- 100日以内のデータのみを印字します。データがない場合は「***」で表示します。
- eGFRは、体表面積1.73m²換算の数値ですので、患者さんの体表面積での補正が必要になります。
- 薬剤ごとに印字されるのは禁忌だけであるため、重要な基本的注意や副作用の早期発見には固定検査値が重要になります。